

日本の古布で描く布絵(NUNO・E)。懐かしくて新しい。貴方もきつと感動します。



居心地の散歩 185×150cm 2010年「メッセージシリーズ」

# 皆川 末子 みなかわ すえこ

## 布絵の世界展 2013

～夢、願い、想い重ねて

■5月14日(火)～21日(火)

■西武筑波店 6階=催事場《入場無料》  
※午前10時～午後8時  
※最終日は午後5時閉場

今年、創作活動30年を迎える、皆川末子さんの布絵。

本展では、30年の集大成として、200点を超える作品から、作家自らが選んだ代表的な作品を展示します。

日本の古い貴重な布や着物を使って表現したオリジナル・アートの世界をご堪能ください。

営業時間のご案内

●4月・5月は休まず営業いたします。●営業時間／午前10時～午後8時 ※6階=レストラン街は午前11時～午後10時(ラストオーダーは午後9時30分)



筑波

電話029(851)0111大代表  
[www.seibu.jp](http://www.seibu.jp)



皆川 末子 みなかわ すえこ

# 布絵の世界展 2013 ~夢、願い、想い重ねて

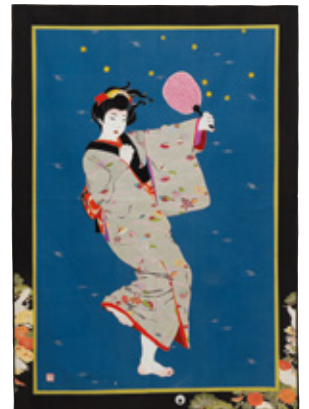
■5月14日(火)~21日(火) ■西武筑波店 6階=催事場  
※午前10時~午後8時 ※最終日は午後5時閉場



虹の芽が出る種  
127×175cm 2011年「メッセージシリーズ」



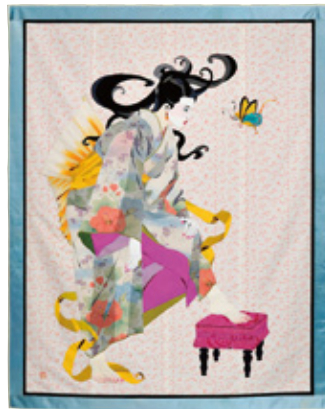
扇の風について  
170×132cm 2008年「日本舞踊シリーズ」



ほたるの中  
158×112cm 2005年「日本舞踊シリーズ」



フリースペース  
184.5×152.5cm 2007年「メッセージシリーズ」



私も飛べますか  
185×148cm 2009年「メッセージシリーズ」



初夢  
172×189cm 2008年「日本舞踊シリーズ」

## 布絵とは?

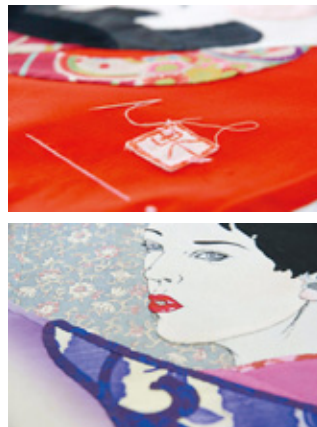
日本画の下絵を描き、顔料(絵の具)の代わりに日本の古い布(着物・帯・手拭いなど)を使用して情景や人物などを表現していくもので、茨城県・水戸市在住の作家皆川末子さん考案による手法です。パッチワークや手芸とは違うその独自の世界は、各種メディアでも取り上げられ、個展でも高い評価を得ています。

## 皆川 末子 Sueko Minakawa

1947年茨城県水戸市生まれ。幼少の頃より絵心を持ち、高校時代には東京へ通い、デザインの勉強をする。

結婚後、布で絵を描くことを発想し、日本の古布で日本画を描く独自の世界「布絵」の制作活動を始め、今や作品総数は200点を超える。国内だけでなく、オランダ・ハンガリー・チェコ・アメリカ・オーストラリアといった海外でも作品展を開催し、大きな反響を呼ぶ。「布絵」による国際交流の輪の広がりにも貢献している。

●公式ホームページ <http://www.nunoe.com>



会期中は毎日、皆川末子さんが来場し、会場で布絵のことや作品の解説をいたします。

■会期中毎日 午前10時30分~午後5時 ※時間は都合により変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。